

佳作 日本の環境保護について感じたこと



ヴー ティ トウイ
VU THI THUY

国 籍 ベトナム

職 種 耕種農業

実習実施者 株式会社もんじゅ山

監理団体 西日本海外業務支援協同組合

今、私は、朝目が覚めるたびに深呼吸して、新鮮な空気を楽しんでいます。全ての場所にこのような空気があるわけではありません。私はこの国に来て、最初の印象は海がとても綺麗だし、森がたくさんあります。外国人にとって、日本の自然に恵まれた風景は大変素晴らしいです。でも、一番の印象は日本人の自然環境に対する意識です。

日本に来たら、すぐにゴミの分け方を学ばなければなりません。可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ、ペットボトル、粗大ゴミなどです。ゴミの分別はなぜ、こんな複雑なのか、わかりませんでした。ベトナムでは、ゴミ袋に何でも入れられます。

私は、ゴミの分別についてはインターネットで詳しく調べました。そして、やっとゴミ分別の大切な意味がわかりました。それは処理費用の減らし方です。そして、環境の守り方と天然資源の節約です。それから、ゴミを捨てる時はいつもゴミを分けて、ゴミ出しの時間を絶対守っています。ガムのような小さいものも軽はずみに捨てることができません。日本人は自然を重要な存在と考

えています。自然に害を与えず、守るべきだと言う強い意識を持っています。幼稚園の時から、日本人の子供たちは自分の勉強するところのゴミをかたづけて、掃除して、小さいこともすることと、環境保護について教育されてきました。これは、人々の潜在意識に深く根ざしています。各段階に応じて、日本には具体策で環境保護します。

2019年5月31日から、スーパーやコンビニなども無料のビニール袋を提供していません。買い物するときに消費者はビニール袋の料金を支払います。

しかし、過去に日本の環境保護も無視されていたことを誰もが知っているわけではありません。特に、日本が先進工業国に成長した時期です。経済発展を優先するため、大樹汚染や水質汚染を放置しました。その結果、深刻な公害を引き押ししました。その後、日本は自然環境の大切さに気付き、環境保護に取り組むようになりました。そして、今では美しい自然を重視し、自然を育て管理するようになったのです。

人々は環境保護問題を自分の問題として考えるのが必要です。ですから、小さなことから行動して、自然環境を守るために、手を取り合ってみましょう。新鮮な空気を吸うように。